

「生涯学習推進計画」と「生涯学習センター運営見直し

実行計画」における 2023 年度の実施結果について

2014 年から 2023 年にかけて、町田市の生涯学習における重点課題は、「生涯学習推進計画」（以下、「推進計画」という）で進捗を管理してきました。2024 年からは、町田市教育プラン（以下、「教育プラン」という）で進捗管理を行っていきます。

2024 年からの町田市教育プラン策定に先立ち、生涯学習センターでは施設のあり方の見直しを行い、2022 年に「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」（以下、「実行計画」という）を策定し、今後重点的に実施する取組を定めています。教育プランにおける重点課題も実行計画から抽出しているため、生涯学習センターでは実行計画で定めた取組を基に事業の進捗管理を行っています。

1. 推進計画と実行計画の実施の関係

生涯学習センター運営見直し実行計画の実施		生涯学習推進計画 2019－2023 における実施
取組 1－1 学びの入口の充実	①入門講座の実施	－
	②若者・生産年齢層向け事業の実施	－
	③アウトリーチの拡大	－
取組 2－1 学びのセーフティネットの充実	①障がい者青年学級の再構築	取組 4－6 「障がい者の学習成果を発表する場の充実」
	②学習支援事業の再構築	取組 5－1 「支援が必要な人への学習機会の提供」
	③デジタルデバイド対策の拡大	－
取組 2－2 生涯学習情報のデジタル化の実施	①情報提供のデジタル化	取組 2－1 「学習情報の発信力の強化」
	②講座事業のデジタル化	－

生涯学習センター運営見直し実行計画の取組		生涯学習推進計画 2019－2023 における取組
取組 2－3 学習 相談の充実	①学習相談コーディネーター制度の導入	—
取組 3－1 地域 での学びの拡充	①市民大学の再構築	—
	②講座づくり★まちチャレの再構築	取組 4－1 「市民提案型事業の推進」
	③地域連携講座の新設	取組 3－1 「地域の課題解決に向けた学習支援」
	④家庭教育支援事業の再構築	取組 1－1 「保護者向けの学習機会の充実」 取組 1－2 「家庭教育支援の担い手育成・活動支援」 取組 1－3 「保育室を利用した家庭教育支援事業の促進」
取組 4－1 学び のネットワークづくりの促進	①ボランティアバンクの再構築	取組 4－5 「生涯学習ボランティアバンク事業の推進」
	②他機関との連携強化	取組 2－5 「生涯学習施設の利用促進」
	③リカレント・リスキル教育情報の整理・提供	—
取組 4－2 学習 成果の還元	①生涯学習センターまつり・ガクマチ EXPO の再構築	取組 4－4 「学習成果の発表機会の支援」
	②修了団体支援の構築	—
取組 5－1 運営 手法の見直し	①業務委託範囲の拡大	—
取組 5－2 組織 体制の整理	①「全体計画立案機能」の生涯学習総務課との役割整理	—
取組 5－3 学び の場の整備	①施設名称の変更	—
	②施設利用の促進	—
	③学校施設利用の促進	—

2. 推進計画で取り上げていない事業の 2023 年度実績

(1) 入門講座

2024 年度に実施予定の講座の体系化を行い、市民大学のうち、人間科学講座、人間関係学講座、歴史講座、健康学講座、自然講座については、学びに会う「きっかけづくり」を行う講座と位置づけ、実施回数、定員などの見直しを行いました。

また、新たな入門講座として、多くの市民にとって関心の高いテーマを取り扱う講座を 2024 年度に実施するための企画検討を進めました。

(2) 若者・生産年齢層向け事業

2023 年 8 月に「生涯学習ニーズ」に関する町田ちょこっとアンケートを実施し、290 件の回答を得ました。回答を年代別に集計し直し、若者・生産年齢層の利用につながる学びのテーマについて検討を進め、学生による企画講座として「若いうちに知りたい！日本証券業協会が教えるお金の講座～貯金と投資の基本のキ～」を実施しました。

(3) アウトリーチの拡充

上半期には、市民大学の“こころ”と“からだ”の健康学講座を、堺市民センターで実施しました。また、下半期にはデジタルデバйд対策事業として、「出張！なんでもスマホ相談室」を各市民センターで合計 24 回実施しました。さらに、市民提案型事業「講座づくり★まちチャレ」の 1 事業として「さりげない見守り活動／みまもりサポーター養成連続講座」を町田市成瀬・成瀬台地区で開催しました。

(4) デジタルデバйд対策事業

デジタルデバйд対策事業として、生涯学習センターを会場として実施した「なんでもスマホ相談室」を 47 回、各市民センターを会場として実施した「出張！なんでもスマホ相談室」を 24 回実施し、合計で 557 名の受講がありました。

（５）講座事業のデジタル化

講座のデジタル化にあたって必要なツール等の情報収集を行うとともに、2024 年度にデジタル化する講座の選定を行いました。

（６）学習相談コーディネーター制度

2023 年度から施設窓口に専門相談員 1 名を配置し、市民の学びに関する問い合わせに対応しています。併せて、職員による学習相談対応チームを設置し、学びに関する要望や調整が必要な事柄について、対応しています。2023 年度に取り扱った案件は 21 件で、市民団体による映画上映会の開催や街中での車いす体験イベントの実施などがありました。

（７）市民大学事業

2024 年度に実施予定の講座の体系化を行い、市民大学のうち、福祉講座や環境講座を対象に、人材育成につながるようなカリキュラムになるよう、講座の構成等について見直しを行いました。

（８）リカレント・リスキル講座

2023 年度に青山学院大学、桜美林大学ら近隣大学 8 校と相模原市、町田市・相模原市の商工会議所で設立した「相模原・町田地域教育連携プラットフォーム」において、リカレント・リスキル講座の開催について、調整を行いました。

（９）修了団体支援

障がい者青年学級の再構築とあわせて、団体支援ルールの検討に着手しました。

（10）業務委託範囲の拡大

2024 年 10 月から施設改修による休館が決まったため、拡大時期を休館明けの 2026 年 1 月に変更しました。2024 年度運営協議会に意見を伺いながら、検討を進めます。

(11) 「全体計画立案機能」の生涯学習総務課との役割整理

2023 年度をもって、推進計画の期限が切れることから、2024 年度以降は教育プランで生涯学習にかかる市の課題設定、進捗管理を行うこととし、教育プランの生涯学習部内の所管部署である生涯学習総務課と役割の整理を行いました。

(12) 施設名称の変更

2024 年度から施設名称の整理、一本化に向けた調査を開始します。

(13) 施設利用の促進

2023 年度は、若者層の要望を受け、個人学習スペースの拡充と火曜・木曜夜間の視聴覚室の自習利用開放を開始しました。併せて、保育室の有効利用及び子育て世代の来館促進のため、土日祝日日中の保育室開放を開始しました。

また、施設を快適に利用いただけるよう空調等の設備修繕の準備を進めました。

(14) 学校施設利用

2023 年度、初めて通年で開放した町田第一中学校は、9,125 人、339 件の利用があり、利用率は 29.4%でした。従来校の利用率は、木曽境川小学校 3.8%、本町田小学校 4.8%、小山ヶ丘小学校 4.8%、鶴川中学校 5.3%でした。

なお、本町田小学校は学校施設の統合準備のため、2023 年度で学校施設の開放を中止しました。